

---

## 平成21年度予算第二特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査 平成21年3月5日

質問者（質問順）

- 1 萩原隆宏 委員（民主党）
- 2 中尾智一 委員（民主党）
- 3 石井睦美 委員（公明党）
- 4 今野典人 委員（民ヨコ）
- 5 太田正孝 委員（無所々）
- 6 河治民夫 委員（共産党）
- 7 渋谷 健 委員（自民党）
- 8 角田宏子 委員（自民党）

環境創造局  
地球温暖化対策事業本部

# 局 別 審 査

## 1 荻原隆宏委員（民主党）

### 1 横浜みどりアップ計画について

- (1) 計画推進にあたり、来年度から横浜みどり税を財源として新たな負担を市民にお願いすることについて局長の所感を伺いたい。
- (2) 所管局長として、横浜みどり税条例追加上程に当たっての思いを伺いたい。  
また、市長インタビュー報道内容に関してどのような思いを持っていたのか伺いたい。
- (3) 市長インタビュー報道内容に関してどのような思いを持っていたのか副市長に伺いたい。
- (4) 一般的な税についての認識を伺いたい。  
(要望) 税の重みをしっかりと、厳粛に受け止め施策にあたるよう要望します。
- (5) 「みどり保全創造事業会計（仮称）」と、「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」は同等内容の事業であると解釈してよいか。
- (6) 予算概要の中で民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に助成とあるが学校はどうするのか。
- (7) 「保育園や幼稚園、学校の園庭等の芝生化事業」が民間への助成に限定した事業であることは、横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）（素案）の策定当初からの計画であったのか。
- (8) 公共施設の保育園・学校芝生化・緑化事業はどのように進める予定なのか。
- (9) 公共教育施設あるいは公共保育施設にこそ芝生化、緑化推進事業が重要と考えるがどうか。

### 2 都心のみどりの将来像について

- (1) 都心部における緑化はどのように進めるのか。
- (2) 公園における緑化はどのように進めるのか。
- (3) 学校などの公共施設における緑化は、どのように進めるのか。

(4) 横浜駅周辺大改造計画や東急東横線廃線跡地再整備計画等のなかで、どれくらいの緑化を考えているのか。

### 3 防災性向上に資するみどり創造の推進について

(1) 防災面での都心の街路樹植樹はどのように推進していくのか。

(2) 緑のオープンスペースの確保はどのように推進していくのか。

### 4 ヒートアイランド現象の緩和策について

(1) 21年度の研究事業の内容と目的について伺いたい。

(2) 都心の生活に密着した空間でのヒートアイランド緩和策について伺いたい。

(3) 緑化の観点からヒートアイランド対策を進めていただきたいが、考え方を伺いたい。

### 5 海の公園の活用について

(1) 海の公園に常設ビーチバレーコートを作る考えはないのか。

(2) 海の公園はビーチスポーツのメッカとなり得ると考えているが、今後の活用方法の考え方を伺いたい。

(要望) 海の公園において横浜のブランド力を高める取組をビーチスポーツ等を活用して進めていただけるとのよう要望します。

1 風力発電所「ハマウイング」について

- (1) これまでの運転状況、売電収入及び協賛金収入の実績はどうか。
- (2) Y-グリーンパートナーによる、民間企業の協賛の仕組みが過度なものとなっていないか。
- (3) 建設資金の今後の償還見込みはどうか。
- (4) ハマ債風車（かざぐるま）を5年満期にした理由は何か。
- (5) 通常のハマ債5より金利を低く設定し、その軽減分を地球温暖化対策に役立つ緑化事業に活用するとあるが、具体的な活用方法と金額はどの程度か。
- (6) 将来の風力発電の運営では、風車の更新や解体も視野に入れ維持管理を計画的に行っていくべきと考えるが、どうか。
- (7) これまでのハマウイングの普及啓発活動の実績及び今後の展開はどうか。

1 横浜みどりアップ計画について

(1) 樹林地の利活用

- ア これまでの市民の樹林地への関わり方はどうか。
- イ 樹林地の利活用に関する新規・拡充施策にどう取り組んでいくのか。
- ウ 施策展開により期待する効果についてどう考えているか。
- エ 樹林地の21年度の買取り予定地区数はどうなっているか。
- オ 買取りの財源調整の考え方はどうか。

(2) 農体験の場の充実

- ア これまで、どのような施策を行ってきたのか。
- イ 設置してきた農園などの事業実績はどうか。
- ウ 農体験の場の充実要望について新規・拡充施策でどう応えようとしているのか。
- エ 農地の保全に対し、どのような効果があるのか。

(要望) 農地の相続が発生した際の買取りについて、将来的な視点を持っていただくことを要望します。

(3) 緑に関する税の軽減策等

- ア 農業用施設に対する税の軽減策の意義と効果はどうか。
- イ どのような農家や施設用地が税軽減策の対象となるのか。
- ウ 基準以上の緑化に対する税軽減の意義と効果はどうか。
- エ 基準以上の緑化に対する税軽減の対象はどうか。
- オ 税軽減について、どのように周知徹底を図っていくのか。

(4) 横浜みどりアップ計画と横浜みどり税

- ア 議決後の市民や他都市等の反応はどうか。
- イ 今後の経済状況によっては横浜みどり税の税収が確保できないことが予想されるが、税を導入して横浜みどりアップ計画を進めていく決意について、副市長に伺いたい。

## 2 温暖化対策について

### (1) 学校給食の廃食用油の利用

ア 廃食用油のバイオディーゼル燃料活用事業とは、具体的にどのような仕組みで実施するのか。また、どれくらいの回収量、精製量を見込んでいるか。

イ 今後、どのように展開していくのか。

### (2) 環境モデル都市として、グリーン・チャレンジに取り組む意義は何か。

### (3) 横浜環境ポイント

ア 横浜環境ポイント事業はどのような仕組みか。

イ 開港150周年事業との連携はどのようにしていくのか。

ウ 実践行動を通じて、どう市民の思いを高めていくのか。

エ 横浜環境ポイント事業の運営は誰が行っていくのか。

オ 今後この事業をどういう方向で展開していこうと考えているのか。

### (4) 横浜グリーンバレー

ア 横浜グリーンバレーとは、どのような構想か。

イ 再生可能エネルギーの先進活用とは、どういうことか。

ウ 再生可能エネルギーによる効果をどのように見込んでいるのか。

エ 将来的な事業展開についての考えを伺いたい。

### (5) 防犯灯や街路灯などの屋外照明の省エネ

ア どのような体制で進めていくのか。

イ 市内の外灯数と、その消費電力はどれくらいか。

ウ どのような考え方で効率化を図るのか。また、その効果はどうか。

エ 今後の屋外照明の導入について、どのように対応していくのか。

## 3 金沢動物園再生（エコ森）事業について

### (1) エコ森の特徴はどのようなものか。

### (2) 21年度はどのような取組を行うのか。

### (3) 事業実施に伴う効果はどのようなものか、目論みについて伺いたい。

#### 4 雨水対策について

- (1) 近年の異常降雨の傾向をどう把握しているか。
- (2) 局地的集中豪雨を視野に入れた、河川や下水道整備を含めた雨水対策について伺いたい。
- (3) 横浜市が主体となっている河川改修整備の状況はどうか。
- (4) 今後の河川改修はどういった視点で行っていくのか。
- (5) 厳しい財政状況下における効果的な下水道整備の進め方と課題は何か。
- (6) 雨水浸透機能強化の方策として、どのような取組を進めているのか。
- (7) 雨水浸透ます設置拡大について制度の見直しは、どのようなことを目指しているのか。
- (8) 雨水対策・下水道対策の総合的な整備にあたっての副市長の決意を伺いたい。

#### 5 地産地消「子供たち」への取組について

- (1) 学校給食への市内産野菜の供給の実態、状況はどうか。
- (2) はま菜ちゃん料理コンクールのねらいは何か。
- (3) はま菜ちゃん料理コンクールの過去3年間の実績と評価はどうか。
- (4) 応募作品はどのように活用しているのか。

1 固定価格買取制度について

- (1) 再生可能エネルギーによる電力の普及方策にはどのようなものがあるのか。
- (2) EU諸国等で導入されている固定価格買取制度の特徴は何か。
- (3) 日本での固定価格買取制度の検討状況はどうか。
- (4) 社会実験では固定価格買取制度に関しどのようなしくみを考えているか。
- (5) 社会実験の成果をどのように活かしていくのか副市長に伺いたい。

2 市内の大気汚染の状況について

- (1) 自動車に関する規制の成果はどうか。
- (2) 大規模駐車場からの排気ガスによる大気環境への影響についてどのように考えているか。
- (3) 低公害車の普及台数はどの程度か。また、2010年度末までの目標達成見込はどうか。

3 農地の周辺対策と農的景観の保全について

- (1) 農地及びその周辺ではどのようなトラブルがおきているか。
- (2) トラブル対処の基本的な考え方はどうか。
- (3) トラブル対策はどのような施策で対応するのか。
- (4) 牧草による周辺環境対策ではどのような効果が期待されるのか。
- (5) 水田保全計画奨励事業はどのような内容か。

4 雨水浸透ますの普及について

- (1) 雨水浸透ます設置について、他の政令指定都市の制度はどうか。
- (2) 本市では、これまでにどれくらいの数の浸透ますが設置されているのか。  
また、市管理と民間管理の内訳はどうか。
- (3) 浸透ますの効用について、どのように考えているか。
- (4) 義務化の導入について、どのように考えているか。

## 5 玄海田公園の整備について

(1) 玄海田公園の整備状況はどうか。

(2) 21年度の整備内容は何か。

(3) 防犯上の配慮はどのようなものか。

(4) 自然環境への配慮はどうか。

(要望) 自然環境に配慮しながら、運動、散策、自然観察会など、多様なレクリエーションができる公園として、また防犯上の配慮がなされるような公園として、整備を進めていただくよう要望します。

1 緑増税関係について

- (1) 21年度には増税を除いた分で緑地帯はどの程度できるか。また、70万本の植樹を含め19年度、20年度における緑の創造はどの程度あったか。
- (2) 1年間にどのくらいの緑が失われているのか。
- (3) 150万本植樹を含めて、環境創造局予算で緑地帯としてどのくらい植えて（増えて）いるのか。21年度予算での見込でも構わない。
- (4) 1平方メートルあたりの緑被率はどの程度と把握しているか。
- (5) みどり新税による購入予定地はどこか、そこは調整区域なのか、市街化区域なのか。
- (6) 現在の経済状況を鑑みて、みどり税の徴収を延期する考えはないか副市長に伺いたい。

2 横浜市緑の協会関係について

- (1) 野毛山、金沢動物園の管理・運営を緑の協会が行っているが、動物園にいた市職員はどうしたのか。
- (2) 緑の協会に市から派遣された職員の給与は本市の給料体系と同じとなると聞いているが間違いはないか。
- (3) 市の職員が外郭団体へ派遣されているだけにもかかわらず、形式上市の職員ではないという理由で、職員を減らしたと聞いている。なぜ、そういうことになるのか、副市長に伺いたい。
- (4) 緑の協会が管理運営を行っている駐車場について民間に任せれば相当な収益があると思うが、なぜ、緑の協会に任せているのか。
- (5) 動物園の委託管理費用がどうやって使われ、効率的に使われていくのかを当然市民や、市会議員が知る必要があり、また、知る権利があると思うがこれについてどう思うか、副市長に伺いたい。
- (6) 指定管理者である緑の協会の事業内容を市会議員が審査をする上で、また、市民が知ろうとした時に、情報提供が不十分であると思うがどう思うか。

1 横浜みどりアップ計画について

- (1) 横浜みどりアップ計画では、ただちに緑の総量が増える効果が得られないと思うがどうか。また、計画期間の樹林地、農地の推移予想はどうか。
- (2) 目標達成の見通しと、現在制度を理解している地権者の割合はどの程度か。
- (3) 地権者全てに対する、制度周知期間の予定はどれぐらいか。
- (4) 緑の総量は当面減少するように思うが、税まで新設して進める計画では市民の期待を裏切ることとならないか。
- (5) 樹林地の指定を進めていく上で、土地所有者の理解を得るための取組はどうか。
- (6) 市街地開発等において、失われる緑の保全に対する取組はどうか。
- (7) 開発地域の取組についてまちづくり調整局との調整状況を副市長に伺いたい。
- (8) 農業を続けていくためには収入を増やすことが必要だが、これまでの取組内容と比較し、横浜みどりアップ計画はその期待にどこまで応えることができると考えているか。
- (9) 地産地消、直売所へのネットワーク等に更なる支援をすべきと思うがどうか。
- (10) 街路樹等管理の問題点に対して、横浜みどりアップ計画はどのように対応しているのか。
- (11) 緑についての横断的な管理を、どのように推進していくのか副市長に伺いたい。

2 脱温暖化行動について

- (1) 先の市長答弁の内容は大量排出事業者個々の排出特性を把握すれば、総量削減義務と削減未達成の措置命令ができると、受け止めてよいか。
- (2) 排出特性をいつまでに掌握するのか。また、いつ頃を目途に削減義務と削減未達成の措置命令を目指しているのか。

(3) 東京都にならい、本市独自の排出量取引制度を導入する考えはあるのか。

(4) エコハマ省エネチャレンジプロジェクトの目的と、効果はどうか。

また、結果報告の内容について説明して欲しい。

(5) 環境家計簿の取組をどう発展させるのか。また、市民にどう周知をしていくのか。

(6) 太陽光発電システム設置費補助の20年度の成果について、どのように評価しているか。また、市民啓発のプロセスはどうか。

1 平成21年度予算について

(1) 基本的な考え方と重点的な取組はどうか。

2 公園関係について

(1) ドッグラン

ア 本市のドッグランの設置状況はどうか。

イ 公園へのドッグラン設置の必要性について、どのように感じているか。

ウ 設置が進まない理由をどう考えているのか。

エ 今後の取組はどうか。

(2) 公園プール

ア 利用者数の動向はどうか。

イ 運営経費と利用料金収入の状況は、どのようになっているのか。

ウ 施設面での課題は何か。

エ 今後の公園プールのあり方に対する考え方はどうか。

(3) 横浜公園の再整備

ア 横浜公園の歴史的価値は何か。

イ 再整備の目的は何か。

ウ 再整備のスケジュールと内容はどうか。

エ 都心部における公園は、さらなる緑化の必要性があると思うがどうか。

(4) 大通り公園の活性化

ア これまでの再整備の概要はどうか。

イ 大通り公園でビアガーデンの開設ができないか。

ウ 今後の大通り公園をはじめとした都心部の公園活性化に対する見解を伺いたい。

### 3 水と緑の基本計画の推進について

- (1) 水と緑の基本計画の今後の取組はどうか。
- (2) 健全な水循環の再生を進めるための基本的な考え方はどうか。
- (3) 水環境にかかわる市民との連携の進め方はどうか。

### 4 東京湾水質一斉調査について

- (1) 八都県市として、平成21年度はどのように取り組むのか。
- (2) 八都県市として、この調査結果をどのように活用してくのか。
- (3) 本市では、どのような取組に活用していくのか。

### 5 土壌汚染対策について

- (1) 「土壌汚染対策法の一部を改正する法律案」の内容はどのようなものか。
- (2) 改正法により、新たに対策が必要となる土地はどのようなものか。
- (3) 「土壌・地下水汚染の規制のあり方について」環境創造審議会に諮問した理由は何か。
- (4) 環境創造審議会ではどのようなことを検討しているのか。
- (5) 答申はいつ頃を目途にまとめられるのか。また、その答申は条例の改正など本市施策に反映させるのか。

### 6 下水道関係について

- (1) 下水道の長寿命化・更新
  - ア 下水道の総資産額はどれくらいか。また、他都市と比べてどうか。
  - イ 21年度予算における更新事業費と建設費の割合はどうか。
  - ウ 下水道施設老朽化の課題は何か。
  - エ 今後予想される膨大な老朽化に対する取組はどうか。
  - オ 21年度予算ではどのような取組に着手するのか。

(2) 下水道計画基準改訂

- ア 下水道計画基準の位置づけはどうか。
- イ 下水道計画基準を改訂するにあたっての環境変化はどうか。
- ウ 計画基準策定に向けて重視すべき視点は何か。
- エ 改訂作業の進め方はどうか。

(3) 横浜駅周辺地区の下水道、河川の整備

- ア 横浜駅周辺地区に関連する帷子川の改修状況はどうか。
- イ 水辺の魅力ある空間づくりに対する環境創造局の取組はどうか。
- ウ 雨水対策としての下水道整備の状況はどうか。
- エ 現在の整備水準をさらに高める必要があると考えるがどうか。
- オ 今後の横浜駅周辺地区の雨水対策の進め方はどうか。

7 横浜みどりアップ計画について

(1) 市街地の緑化

- ア 市街地における緑化推進の意義は何か。
- イ 市街地における緑化施策の内容はどうか。
- ウ 地域緑のまちづくり事業の進め方はどうか。
- エ どのような地域で事業を実施していくのか。
- オ 具体的にどのような緑化計画をつくっていくのか。
- カ 「よこはま協働の森基金」を見直す考えはあるのか。

(2) 横浜みどりアップ計画の推進に対する決意はどうか。

(3) 横浜みどり税に関する新聞記事に対しての感想はどうか。

1 横浜みどりアップ計画について

(1) 樹林地の維持管理

- ア 樹林地の維持管理の考え方はどうか。
- イ 維持管理のこれまでの取組はどうか。
- ウ 土地所有者への具体的な維持管理支援はどうか。
- エ 市民の森愛護会への今後の支援策はどうか。

(2) 農業への新規参入

- ア 農業への新規参入を進める事業にはどのようなものがあるか。
- イ 新規参入の実績はどれくらいあるのか。
- ウ 法人の新規参入に対する国の動向はどうか。
- エ 今後、新規参入についてどのように展開するのか。

2 温暖化防止について

(1) CO-DO30 予算の取組推進のため予算編成で工夫したところは何か。

(2) 再生可能エネルギーの普及促進

- ア 太陽光発電普及に向けての戦略はどうか。
- イ 町内会館・太陽光発電プロジェクトのねらいと展開はどうか。
- ウ 再生可能エネルギーの普及の課題克服に向けた考え方はどうか。

(3) 省エネ家電普及の仕組みづくり

- ア 省エネ型家電の普及効果の見込みはどうか。
- イ 現在進めている省エネラベルの取組の課題は何か。
- ウ 省エネ家電の普及を加速するため、今後進める取組はどうか。

(4) CO-DO30 具体化への第一歩を踏み出すにあたっての決意を副市長に伺いたい。

### 3 飯島地区の浸水対策について

- (1) 浸水被害が多い飯島地区の特性と対策の概要はどうか。
- (2) 雨水対策として豊田高校跡地を具体的にどのように活用するのか。
- (3) 現在の進捗状況と効果はどうか。
- (4) 地元の関心が高い雨水調整池の上部利用の考え方はどうか。
- (5) 全体の完成の見通しはどうか。

### 4 柏尾川流域の治水対策について

- (1) 柏尾川流域の河川事業の状況はどうか。
- (2) 貯留や浸透に関する事業の進め方と21年度の整備内容はどうか。
- (3) 特定都市河川浸水被害対策法の適用による浸水対策はどうか。
- (4) 特定都市河川及び流域に指定される見通しはどうか。
- (5) 市内の県管理河川の管理権限の移譲についての考え方はどうか。

### 5 矢沢小学校跡地でのスポーツ需要に応じた公園整備について

- (1) 矢沢小学校跡地を「各区のスポーツ需要に応じた公園」として整備する理由は何か。
- (2) 公園の施設整備にあたり、地元意見をどのように聞いてきたのか。また、その意見をどのように反映していくのか。
- (3) 公園整備のスケジュールと取組姿勢はどうか。

### 6 150周年記念関連事業について

- (1) 旧伊藤博文金沢別邸の整備
  - ア 旧伊藤博文金沢別邸の沿革とその歴史的価値はどうか。
  - イ 整備の内容はどうか。
  - ウ 今後の管理運営はどうか。

(2) (仮称) 旧住友邸庭園の整備

ア 旧住友邸庭園の概要と整備に至った経緯は何か。

イ 旧住友家俣野別邸の歴史的価値はどうか。

ウ 整備スケジュールはどうか。

エ 特性を活かした管理運営はどうか。

(要望) 市内ばかりでなく、県内外からも来訪していただけるような管理運営を、今後、考えていただけるよう要望します。

7 種の保存の取組について

(1) 種の保存に関する海外交流事業の取組はどのようなものか。

(2) 繁殖センターの10年間の実績はどうか。

(3) 種の保存の今後の取組はどうか。

8 全国「みどりの愛護」のつどいとズーラシア整備について

(1) 全国「みどりの愛護」のつどいの開催意義と概要はどうか。

(2) つどいへの市民参加の状況はどうか。

(3) つどい開催に向けた基盤整備の状況はどうか。

(4) つどい開催を契機とした横浜開港150周年への効果はどうか。

(5) 横浜動物の森公園(ズーラシア)の整備状況はどうか。

(6) ヒルサイド開催後のズーラシア整備の考え方はどうか。

(7) アフリカサバンナゾーン整備における魅力づくりはどうか。

(要望) イベントの機会を活用し、市内外への宣伝を工夫していただくとともに、一日も早い完成をお願いします。